

(1) 福祉

【現状と課題】

- 核家族化や女性の社会進出が進む中、保育サービスのニーズは増大し、多様化しています。行政は次代を担う子どもたちが、地域の中で健やかに生まれ育つことが出来るよう、総合的な子育て支援サービスの充実に努めています。
- 町内4ヶ所の保育所のうち、一宮保育所と東浪見保育所は移設・民営化・認定こども園化し定員を増員、愛光保育園も増設により定員を増員し、保育環境の向上を図りました。唯一の公立保育所となる原保育所では、絵本蔵書3000冊の「はらっぱ文庫」を中心に、特色を生かした保育の実施に努めています。
- 保育施設だけに限らず、家庭や地域の支援や民間団体と連携を持ちながら様々な子育て支援サービスを展開していくことが求められています。

【基本方針】

保育サービスの多様化と、地域コミュニティとの交流環境を充実することによって、家族が安心して暮らし、次世代を担う子どもたちも、地域との密接なつながりの中で、のびのびと健やかに育ち、安心して子育てをしていけるための環境づくりを推進します。

【計 画】

① 少子化対策

- 不妊治療費の助成をし、経済的な負担軽減をはかります。(千葉県特定不妊治療費助成事業の対象となっている夫婦)
- 安心して妊娠・出産が出来る環境整備、子育ての孤立感や負担感を解消するための支援に取り組みます。
- 出産に関する情報や行政サービスの案内を一元化するツールとして、子育て支援サイトの運用を開始しました。予防接種スケジュールの登録・確認、長生郡市内の医療機関及び公共施設の検索機能に加え、町からのお知らせや衛生・健康情報等様々な情報を発信していきます。
(福祉健康課)
- 子どもを産み育てる環境対策として「病児・病後児保育」「産休明け保育」「延長保育」「育児教室の充実」等について、地域や民間、ボランティア組織等による支援を検討しながら少子化対策を推進します。
(保育所・福祉健康課)

② 子育て支援

- 生活スタイルの多様化に伴い、子育て世代からの保育サービスの要望は年々変化しています。これに伴って、今後も保育所・認定こども園では「一時保育」「親子教室」「園庭開放」等の保育サ

サービスの充実に努め、各種機関、地域との連携により住民の要望に応える環境づくりを進めていきます。

- 現在実施している「延長保育」「産休明け保育」「障害児保育」等、保育体制の充実を図ります。また、地域の様々な人々のボランティア等の関わりによる支援を推進していきます。
- 効率的な保育所運営と、一層の保育サービスの充実を図るため、保育施設の環境整備に努めます。
(保育所・福祉健康課)

③ 地域とのつながり

- 妊婦や乳幼児をもつ家族が、新たに本町に転入してきたときに、地域コミュニティとの密接なつながりを持ち、周囲と広く情報を共有出来るような仕組みを、住民と行政との協働により形成していきます。
- 新生児訪問等によって母親や乳幼児の実情を把握し、各種の行政支援策に関する情報提供が充分に出来るように努めます。
(福祉健康課)
- 公立原保育所に児童館機能を併せ持つ多目的ホールを建設し、地域子育て支援拠点とします。全ての保育施設において、子育てコミュニティの支援を積極的に行い、高齢者等も含めた世代を超えた交流により、子どもと家族を温かく見守ることで、互いに楽しみ、関わる人々自身も生きがいのもてる交流の場をつくっていきます。
- 子育て等に関する相談や子育て親子間の交流の場の提供等、地域子育て支援拠点事業を推進します。
(福祉健康課・保育所)
- 公立原保育所はらっぱ文庫(絵本貸出)にて、親子向けイベント「えほん教室」を定期的を実施し絵本を通じて親子の心のふれあい、親子のコミュニティの場としての環境を整えていきます。
(保育所)



(2) 健康

【現状と課題】

- 妊娠届のあった方に母子手帳、妊婦乳児健康診査受診券を発行し、マタニティ教室の案内をしています。妊婦健康診査14回分の検査費用の助成をしており、妊婦の健康管理の充実と経済的負担を軽減し、安心して生み育てる環境の支援をします。
- マタニティ教室では、妊娠、育児に関する知識の習得と、母性、父性を育み同じ立場の妊婦同士の交流を持つことを目的として開催しています。
- 保健師が乳児宅への全戸訪問に取り組んでいます。少子化、核家族化が進む中、産後の母親の育児不安の軽減を図り、産後うつや孤立感を未然に察知し相談窓口の紹介や仲間づくりが出来る教室等の情報提供をしています。
- 乳幼児期の疾病予防、早期発見、健康保持増進を目的として、母子保健法で定められている1歳6か月児、3歳児健診の他、乳児健康診査受診券を発行し、医療機関での健診3回分を助成しています。町独自で乳児期に3回相談事業を実施し、乳児の発育状況の観察や母親の相談に保健師、栄養士が対応しています。健診未受診者については訪問をし、把握をすると共に、保育所や他機関と連携し、虐待等の問題も未然に防止出来る様努めています。
- 2歳3～4ヶ月児を対象にむし歯予防を重点的に行うため、身体計測の他、歯科診察、ブラッシング指導を実施しています。希望者にはフッ化物歯面塗布を行っています。
- 子ども医療助成制度により、就学前乳幼児の医療の充実と保護者の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりをしています。
- 予防接種は予防接種法の改正や保護者の利便性を考慮に入れ、医療機関での個別接種となっています。

【基本方針】

出産に対する不安が安心と希望に向かうための支援と、地域ぐるみの支援が可能となる社会の形成を目指します。行政の支援と地域の人との交流が一体となることで、本町の将来を担う子どもたちを育てる世代にとって、出産・子育て・生活への不安が少なくなるよう支援します。また、子どもの医療費負担を軽減すると共に、子どもたちの健全な発達を総合的に支えていきます。

【計 画】

① 母子保健の充実

- マタニティ教室は、妊婦の夫の積極的な参加もみられます。今後も参加者の意見を反映して、マタニティ教室の本来の目的と個々の環境を融合させるよう継続開催していきます。
- マタニティ教室で先輩ママからのアドバイスの時間を設け、子育ての知識経験を伝えています。妊婦や家族が出産への不安を軽減し、互いに支え合えるコミュニティ形成の場となるような環境づくりを進めています。
- 新生児訪問等によって母親や乳幼児の実情を把握し、各種の行政支援策に関する情報提供が充分に出来るよう、出産や育児に関する情報や行政サービスの案内を一元化していきます。
- 保健師・栄養士等の活動を通じて、育児のための知識・習慣等の普及活動を進め、乳幼児や親の健康保持、疾病予防のための相談等が気軽に出来る環境整備を推進します。（福祉健康課）

② 医療体制の充実

- 子どもの医療費助成等、医療費の負担軽減施策等の継続により、育児にあたる家族が安心して生活出来るよう支援します。（福祉健康課）

③ 予防接種の推奨

- 接種対象の時期になったら個別通知し、医療機関での個別接種を推奨します。
- 医療関係との連携を密にし、小児救急診療をはじめとした緊急医療の輪番体制の安定化と充実に努めます。こども急病電話相談（#8000）を周知します。（福祉健康課）

④ 健康教育の促進

- 親子が共に健康についての学習、食育といった面で、意識や知識の向上が出来る機会を広く設けます。（福祉健康課）
- 保健センターで実施している「あそびの広場」や「ブックスタート」をはじめとして、幼児が学びの世界にも足を踏み入れるための環境づくりを推進し、地域にとけ込むための場を提供していきます。（福祉健康課・教育課）

(3) 教育

【現状と課題】

- 本町の幼児教育は、公私^{（注）}の保育所等によって進められてきました。保育所は就学前の幼児の人間形成の基礎を培う重要な役割を果たしています。保育所では、保護者の就労等から保育を必要とする乳幼児に対して、保育が行われています。家庭の機能を補うだけではなく、保育所園での生活や遊びを通して幼児がともに育ちあい、身体的・精神的・社会的発達を遂げるよう、「保育指針」に基づいた保育が進められています。
また、平成28年度からは保育所に幼稚園機能を備えた認定こども園が開園し、保護者の就労の有無に関わらず、教育・保育を提供しています。
- 家庭の生活様式が多様化したことにより、保護者・子どもの住んでいる地域との関係が希薄になり、本来地域で学ぶべき社会的規範や人間関係の習得が困難な状況になっています。保育施設・家庭・地域・行政がそれぞれ協働し、子どもの教育と安全を支える仕組み作りが求められています。
- 一宮町保健センターで実施されている「あそびの広場」の他、保育所と連携した育児相談、親子ふれあい教室の参加が継続して増えています。本事業は保健師が介入し、育児中の母親の友達づくりの場を提供するとともに、育児不安の軽減、子育て中の母親が地域で孤立しないための重要な事業となっています。教育課と福祉健康課が連携して、町の乳児相談の場を利用した、ブックスタート事業を行っています。

【基本方針】

一宮町に育ち、将来町を担うべき人を育てるという理念に基づいて、子育て、教育の場をつくっていきます。行政は、子供たちが遊びを通じて社会生活を学ぶ初めての場を提供し、地域に根ざした魅力ある幼児教育を発展させていくと共に、親子とそれを取り巻く地域コミュニティが共に学び、互いに支え合う環境づくりを進めていきます。

【計 画】

① 初めての学びの場

- 子どもの教育・保育・子育て支援を総合的に提供する「認定こども園」を導入し「認可保育所」と共によりよい学びの場となるよう、行政と住民が共に検討し幼児教育の向上に努めていきます。
(保育所・福祉健康課)
- 保健センターで実施している「あそびの広場」・「ブックスタート」や「はらっぱ文庫」をはじめとして、幼児が学びの世界にも足を踏み入れるための環境づくりを推進し、地域にとけ込むための場を提供していきます。
(福祉健康課・教育課・保育所)

② 親子で学ぶ環境

- 育児・健康・食育等の知識や習慣について、楽しみながら学べる環境整備を推進します。

(福祉健康課・保育所)

③ 地域の文化と慣習

- 地域行事等に気軽に参加でき、親子が共に一宮町の歴史・文化に慣れ親しみ、郷土愛の意識が培える環境づくりを推進します。地域の伝承遊びや歴史・伝統文化・地理自然環境等についての知識技術を持つ地元のボランティアの協力を得ることにより、多様な教育の場を提供していきます。

(教育課)

